

# 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3090100458		
法人名	株式会社リバソン		
事業所名(ユニット名)	グループホームふどきいひるず イーストビレッジ		
所在地	和歌山市岩橋55-8		
自己評価作成日	令和5年11月8日	評価結果市町村受理日	令和6年2月1日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp">http://www.kaigokensaku.jp</a>
----------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 和歌山県社会福祉協議会
所在地	和歌山県和歌山市手平二丁目1-2
訪問調査日	令和5年12月8日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ふどきいひるずの運営理念である「その人らしい普通の暮らしを愛する地域で」のように地域の神社へ初詣に出かけたりお散歩等を行い地域との関係性を大切にしています。  
 職員と入居者様との関わりの中で思いやりを大切に、その人らしく生活して頂き家族のような関係を持たせて頂いています。施設運動会や行事では入居者様と職員が一緒に行き、笑い声が飛び交い楽しく過ごしています。  
 コロナウイルスの影響で長い期間、家族様、地域の方には施設内に来て頂く事が出来ませんでした。少しずつボランティアや地域の方に来て頂き以前のように大勢の方が施設内に来て頂けるよう取り組みを進めます。

職員の勤続年数の長さが事業所の利点につながっている。代表者や管理者は、人生の先輩である利用者から多くの事を謙虚に学びながら運営に活かしている職員の姿を目の当たりに見て、利用者と共に成長する職員の力を実感している。  
 健康管理や医療面では、事業所の提携医及び訪問看護師との連携が密であり、緊急時の対応も可能であることから利用者及び家族等が不安なく過ごせている。  
 地域との交流については、最小限度に留まっているが、感染の状況・推移を見守りながら、以前のような活発な交流に向けての準備に余念がない。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	運営理念を見やすい所に掲げ、管理者職員は理念を共有し、日々の方針として業務に取り組み地域との交流に努めています。	理念は、法人開設時に定めたものであり、法人の持つ3事業所が共に同一の理念を掲げている。日毎の朝礼の場で確認し、唱和することもある。理念は、すべての職員にしっかりと定着しており、日々の具体的な業務を支える土台であると言える。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の掃除に参加し、挨拶を交わし、地域の一員となつています。地域の運動会や消防訓練に参加させて頂いていましたが、コロナウイルスの影響で中止になっています。	自治会員ではないが、運営推進会議には自治会役員の出席もあり、地域の情報を得ることができる。コロナ禍前には、事業所の夏祭りへの地域の方々の招待や、ボランティアの訪問等で活発な交流があったが、現在は収まりを待つ状況にある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	毎年、夏祭りは地域の方にチラシをポスティング行い、沢山の子供さんや地域の方に来て頂き、施設内で入居者様と関わって頂いております。又子育て支援を推進しており、小さい子供さんもお母さんと一緒に出勤し、入居者様と1日すごして頂いております。コロナウイルスの影響で今年も夏祭りを開催する事は出来ていません。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に1回開催していましたが、コロナウイルスの影響で運営推進会議は開催出来ていませんが、議事録や通信は包括支援センターや地域の方に渡して見て頂いています。	運営推進会議開催時は、利用者・家族等・地域の代表・自治会役員・地域包括支援センター担当者の出席があった。会議開催を今まで数回試みたが、実現に至らなかった経緯があり、近い時期の開催を目指している。外部評価については、職員による自己評価を実施し、結果については、関係者に開示している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村の各担当者には、その都度不明点をお聞きしています。生活保護課、指導監査課、地域包括支援センターの担当者とは常に情報交換を行い不明な事は相談させて頂いています。	地域包括支援センター担当者及び生活支援課ケースワーカーとは日頃から密に連絡を取り、事業所の活動内容を積極的に伝えている。双方向の協力関係を築いているが、現在は電話や書類によるやり取りが主である。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日中、玄関窓には施錠せず、自由に屋外に出る事が出来ます。身体拘束適正化委員会を設置し定期的に会議を行いサービスの見直しを行っており、身体拘束しないケアに取り組んでいます。	事業所内での研修や、身体拘束適正化委員会での話し合いを通じて、代表者及びすべての職員は身体拘束となる具体的な行為を正しく理解している。加えて自己点検や相互確認を徹底することで、ややもすると起こりがちな言葉による拘束もみられない。自宅生活と同様に日中は玄関の施錠はせず、外出をする利用者には職員が同行している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	安全対策委員会、施設会議で虐待について話し合い、職員に周知防止に努めています。常に職員同士で介護の仕方、声掛けの仕方など話し合っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護の研修に参加しています。現在必要とされる方はいません。必要に応じて支援させていただきます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、十分時間を持ち、利用料金、個人情報、重度化、看取り、秘密保持等詳細を説明しています。不安や疑問には丁寧に説明し納得して頂いています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者や家族様の意見や要望を話せる機会は設けています。利用者とは家族のような関係性を保ち何でも話して頂ける生活環境です。玄関先には苦情箱を設置しています。	職員は、利用者についてはもちろんのこと、家族等にも意見・要望を話しやすい雰囲気づくりに努めていることから、苦情箱の利用はない。意見・要望は、直接又は電話で聞き取ることがほとんどである。時間の制限はあるが、家族等の要望により直接の面会を再開した。外部機関への意見・要望の表明については、契約時に説明すると共に事業所内に書面を掲示している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	代表や管理者は、職員の意見や提案を聞き入れる機会を多くとり、実行出来るようにしています。	職員は、随時、代表者や管理者に意見・提案を出すことができ、行事等の運営自体を職員が自主的に行う場面が多い。事業所の活動に必要な物品の購入等が迅速であり、又、職員の勤務についても、希望に沿った配慮が行き届いていることが職員の向上心につながっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は、管理者や職員のojtや自己評価を行い、職員の努力や能力を把握し、職員が前向きに働ける様取り組んでいます。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修はオンラインで行っています。毎月、法人内研修を行い、その内容を各部署に伝達研修を行っています。施設内でも認知症研修・介護技術・身体拘束権利擁護等の研修を行い、職員のレベルアップの繋がっています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	当法人には3カ所のGHがあり、研修や勉強会を行い、各施設の質の向上に努めています。コロナウイルスの影響で他施設の方とは交流は出来ていません。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	面接時、生活状況の把握に努めています。ご本人様の思い、不安や要望などをお聞きし、職員全員で共有し、ご本人様の事を理解し、入居後の生活の不安の軽減に努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	施設内外の環境を見学して頂きます。ご家族様の現状、困っている事、悩み、疑問、要望などをお聞きし、不安の軽減に努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様家族様の思いや状態を把握し、必要とするサービスを見極め、ご本人に合ったサービスを提供しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人が出来る事は一緒にする様心掛け家族のように接して頂けるようにコミュニケーションを取るように努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人の意思や家族の要望などを尊重し、家族様、ご本人、家族で支え合いより良い関係を築くよう心掛けています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	写真、年賀状、ご本人の友人の訪問、電話でお話する等の関係を築き、好きな場所への外出等の支援を行っています。	コロナ禍においても、初詣や訪問によるパン屋の利用は続けてきたが、途絶えていた直接の面会の再開は馴染みの人や場との関係継続の支援の中でも要であると考えられる。月1回発行される「ふどき通信」で、利用者の活動報告をしながら、以前のように自由に行き来できる状態に戻ることを願っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の性格や趣味、好きな事等は把握し適度な距離感を保てるよう支援しています。ユニット同士が繋がっており、落ち着かれない時などは別ユニットで過ごされる時もあります。両ユニットの入居者様を職員全員で支え合える関係が出来ています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても、面会に行かせて頂いたり、家族様のボランティアを迎え入れたり、相談事にのらせて頂き関係性を保っています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	コミュニケーションを取りご本人の思いを把握しています。又難しい時はご家族様にお聞きし利用者様本人の生活を本位にしてサービスを進めています。	センター方式を部分的に活用し、利用者一人ひとりのイメージをイラストで描いたり、日頃の発言を吹き出しに書き込んだりすることで全体像が浮かび、利用者の思いや意向の把握に役立っている。個々の職員が気付きを書き留める申し送りノートが、職員間で情報を共有し、実践する上で果たす役割は大きい。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	面接時、過去の事、趣味や好きな事などお聞きするようにしています。又家族様に本人様のバックグラウンドをお聞きし、職員全員で共有するようにしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎朝、バイタルチェックを行い本人様の健康状態を把握しています。日々の過ごし方、残存能力などを把握し出来る事は自分でして頂けるよう支援しています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者様、家族様の思いや希望などをお聞きしています。主治医や看護師等も意見も取り入れています。月1回カンファレンスを行い現状把握に努め介護計画に反映しています。	利用者及び家族等からの聞き取り、職員間での検討を経て取り上げられた課題を分析した上で、目標・援助内容を定め、主治医・訪問看護師等関係者の意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。モニタリングを通しての評価に基づき見直しの必要性の有無を判断しながら、現状に即した介護計画としている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人の介護計画に1日の生活を記入し全員で共有しています。特記事項は申し送りノートに記入し全員で把握し気を付けています。継続事項は介護記録に反映しています。定期的に評価を行い実践に繋げています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人や家族様のニーズに対応できるよう支援しています。家族様支援、外出支援、通院支援等でその方に合った柔軟な対応を心がけています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナウイルスの影響で地域との交流は控えています。今年からは様子を見ながら利用者が楽しめる様支援を進めたい。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	総合病院への受診は本人様、家族様が希望され行かれています。家族様が対応出来ない時は職員が付き添っています。主治医や歯科医師の訪問を定期的に受けています。緊急時は主治医に連絡し指示を仰ぎ対応しています。	かかりつけ医の選定は、利用者及び家族等の意向に沿っている。事業所の提携医による往診は、月1回あり、看護師の訪問は週1回である。眼科についても往診がある。提携医による緊急時の対応も可能であることから、利用者はいつでも適切な医療を受けることができる。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師が週1回来て下さり、健康管理を受けています。夜間、緊急時の対応もして下さり入居者様の適切な健康管理の支援を受けています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時、病院関係者と日頃の身体的な事、認知症面、日常的な状況をお伝えしています。入院中は看護師や地域連携室と連絡を取り早期退院に向けて連携をとっています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時、重度化や終末期の看取りに関して説明を行っています。重度化した時は、主治医、家族様、訪問看護師、職員間で十分話し合い方針を決めています。	契約時に看取り指針を提示し、別途看取りに関する契約を交わすが、看取りの段階前に再度契約書を作成し確認している。職員は研修を通して、看取り時の心構えや、実際の対応を身に付けている。昨年度の看取り事例は2件であり、本年度は1名の看取りがあり、ターミナルケア実施中の利用者が1名である。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防士の普通救命講習会に参加し知識を身につけています。定期的に施設内研修を行っています。事故発生マニュアル、緊急時マニュアルを作成し目に付く所に掲示しています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、消防訓練を実地しています。火災や風水害に備え近隣地区に協力体制を得ています。非常食や必要物品も備蓄しています。	避難訓練は、マニュアルに則り、昼間及び夜間を想定し、利用者と職員が一緒に参加して実施している。事業所は、平屋である為、隣接する自動車学校の建物への避難を要請し、承諾を得ている。備蓄品の定期点検は担当者が行う。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の人格を尊重し、プライバシーに配慮しています。その方に合った声掛けを行うようにしています。気持ちよく過ごして頂ける環境をいつも心がけています。	呼称は、姓によることを基本とするが、利用者一人ひとりの受け入れの状況を見ながら、家族等の承諾も得て柔軟に対応している。トイレ誘導等は、特に注意を払う場面である。個人情報については、文書等を鍵のかかる保管庫に納める等責任ある取扱いと管理を徹底している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様のご希望や要望はお聞きするよう心掛けています。自己決定の難しい方には簡単な質問をしたり、表情を見てコミュニケーションを取るようにしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様の希望を尊重し、一人ひとりのペースに合わせながら安全に考慮しながらその人らしい暮らしが送れるよう支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時、食後等は口の周りや衣類等が汚れていないか確認し清潔に努めています。男性利用者には髭剃りの声掛け女性利用者には化粧水等を塗る事で身だしなみに気を付けています。季節に適した服装も利用者の意見をお聞きし、スタッフと利用者さんで選ぶようにしています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	行事や誕生日などその人の好物や食べたい物を提供しています。餃子作りやたこ焼き等一緒に準備や片付けをしています。	利用者との日頃の会話から、職員は本人の好みを把握しており、メニューづくりに取り入れられている。食事づくりや後片付けは、利用者が持てる力を発揮できる協同の場であり、職員は利用者と同じ食事を楽しんでいる。折々に利用する店屋物(幕の内弁当・お寿司・ハンバーガー等)やおやつづくりは好評である。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎月、体重測定を行いその都度個々に適した食事量を提供しています。又水分に関してはスポーツ飲料や好みの飲み物を含み1500ccを目標に摂取して頂くようにしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事後の口腔ケアを行っています。ご自分で出来る方には自分でして頂き、介助が必要な方は支援させて頂いています。週1回歯科衛生士による口腔管理、必要に応じて歯科医の往診を受けています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	立位の出来ない利用者様でもなるべくトイレへ誘導を行い排泄して頂き、又個人の排泄パターンを把握し失敗やおムツ使用を減らせるようトイレ誘導や介助に努めています。	排泄チェック表に基づきトイレ誘導等の介助に努めている。おむつやパッドを使用する場合は根拠を明確にし、常に見直しを行うことが原則である。職員は自立した利用者の姿に力を得ながら、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を続けている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	利用者様が便秘にならないように訪問看護師と連携をとり取り組んでいます。飲食物を工夫し便秘がちな利用者様には腸内環境を整えられる物(ヨーグルト、ヤクルト、牛乳等の乳飲料を提供し様子を見ています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入居者様には隔日の入浴を行っています。入居者様の希望で毎日の入浴も行っています。浴室入口にはのれんを掲げ温泉気分を感じて頂いています。	入浴を楽しむことができるよう利用者の習慣や好みを活かした支援である。柚子等を用いた入浴に利用者は季節を実感することができる。入浴を拒みがちな利用者については、時間をずらす、声をかける職員を代える等の工夫をして入浴の実現につなげている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者様の睡眠パターンを把握していません。寝付けない方には温かい飲み物を飲んで頂いたり、職員とくつろいで頂き、入眠への支援を行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者様の個々の病名や服薬は全員で把握するようにしています。体調不良時等で服薬に変更がある時は口頭で早急に伝え、申し送りノートで変化が確認出来るよう職員全員で把握するようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様の得意分野で出来る事はして頂いています。興味のある事、行きたい所などお聞きし実践出来るようにしています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナウイルスの影響で屋外に出る機会が少なかった。自然が多い、人の集まらない所へドライブや散歩を行い気分転換を行いました。	戸外に出ることは、利用者・職員双方にとって気分転換を図り、五感刺激を得る貴重な機会であることから、洗濯物干しや日光浴は日常茶飯事である。近くの神社へは、毎年徒歩で初詣に出かけている。以前のように気兼ねなく外出できる日の到来を待つばかりである。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理の出来る方には、自分で管理して頂いています。職員と買い物に出かける時はご自分で支払して頂ける様支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居様が希望された時は電話をかける支援を行っています。家族様からの電話は職員が取次ぎお話して頂いています。年賀状には利用者様に一言書いて頂くようにしています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	静かな田園地域と山が見え季節を感じる事が出来ます。車の通りも少なく安全に過ごして頂いています。施設内は広くゆったりとのんびり過ごして頂いています。	利用者は、窓の外の景色を見ながら季節の移ろいを肌で感じる事ができる。リビング以外にも両ユニットが共有できる寛ぎのスペースが設けられており、オゾン利用の消毒機器を備えている。利用者は、日中居室から出て過ごすことが多く、ほどよく配置されたソファで談笑したり、リビングや寛ぎのスペースで新聞や雑誌を読んだり、思い思いにゆったりと過ごしている。リビングで洗濯物たために勤しむ利用者の姿は、生活感そのものである。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	施設内は広く、気の合う仲間と一緒に過ごすスペースがあります。又静かにのんびり過ごすスペースがあり、施設内を散歩する事が出来ます。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	テレビやタンス、仏壇など使い慣れた物を置いています。家族様の写真を飾って頂いたり、思い出の品物を置いています。本人様、家族様と相談しながらくつろいで頂けるお部屋作りを行っています。	居室の入口には、識別できるように工夫された表札が取り付けられており、居室内は動線を考慮しての家具等の配置である。居室は内側からの施錠が可能であり、利用者は落ち着いて自分のペースで過ごすことができる。職員が居室を訪れる際にはノックをし、声をかける等プライバシーの保護にも十分な配慮がなされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	部屋には手作りの表札、トイレには「便所」と、入居様にわかりやすいように表示しています。廊下、トイレ、浴室には手すりを設置されており自立した生活が送れるようになっています。施設全体はバリアフリーで安全に過ごして頂いています。		